

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

・定員充足の見込み

設置を申請するにあたり、健康栄養学研究科健康栄養学専攻では入学定員を4名、収容定員を8名に設定している。定員を設定するにあたり、本研究科設置の基礎となる健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の大学院進学状況や、在學生と卒業生を対象に行ったアンケート調査の結果から検討を行った。

・定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

本研究科設置の基礎となる健康福祉学部健康スポーツ栄養学科は平成21年4月に設置された学科であるため、現在までに3期の卒業生を輩出しているが、その卒業生の進路について、大学院への進学状況を調査したところ、1期生である平成25年3月卒業生から4名が本学家政学研究科食物栄養学専攻に、2期生である平成26年3月卒業生から4名が本学家政学研究科食物栄養学専攻に、3期生である平成27年3月卒業生から3名が他大学大学院に進学している。また、1期生の4名の大学院進学者のうち3名は大学助手として採用されており、さらに学びを深めたいという学生の意向が伺える。このように、本大学院の基礎となる健康福祉学部健康スポーツ栄養学科では継続的に毎年入学定員60名の5%から7%程度の大学院進学希望者が存在している。

また、専門学校以外の栄養士養成施設及び管理栄養士養成施設は、兵庫県では本学を含み8大学2短期大学(11課程)に設置されているが、栄養学を主として多角的・包括的に健康にアプローチする本研究科の学びに関心・興味を持つ志願者を本学在學生、卒業生に加え、広く募集する。(資料1)

定員充足の根拠となる客観的なデータとして、健康スポーツ栄養学科の在學生(2回生～4回生)と卒業生(卒業1期生、2期生、3期生)を対象に健康栄養学研究科への進学に関するアンケート調査を下記のとおり実施した。

健康栄養学研究科への進学に関するアンケート実施概要

調査時期 : 平成27年4月

(在學生) 新年度オリエンテーション期間

(卒業生) 4月中の1ヶ月間

調査対象 : 神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科

・在學生2～4回生 計217名(内回答者188名)

・卒業生(1～3期生) 計209名(内回答者54名)

調査時の配布物：下記のをを配付

参考用リーフレット（資料 2）

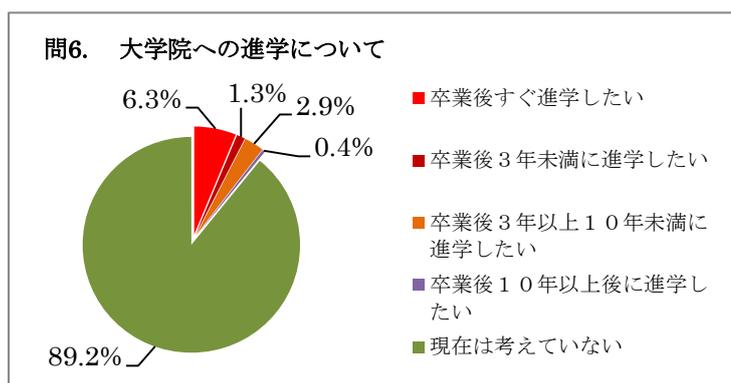
アンケート用紙（資料 3）

※ 卒業生は郵送のため依頼書も添付（資料 4）

調査はアンケート用紙に無記名で回答する方法で実施した。その結果、在学生からは 188 名（回収率 86.6%、内訳：2 回生：61 名、3 回生：66 名、4 回生：61 名）、卒業生からは 54 名の回答（回収率 25.8%）が得られた。アンケートの調査結果（資料 5）について分析した結果を以下のとおり記載する。

(a) 大学院への進学について（資料 5 - 問 6）

在学生及び卒業生の回答者 242 名のうち、26 名（10.7%）が本学の大学院進学に関わらず大学院への進学として興味を示した。その中でも「卒業後すぐ進学したい」と回答した者が 15 名（6%）と、特に強い大学院進学への関心が伺える。また、在学生の 17 名、卒業生の 9 名が 10 年以内の大学院進学に興味を示している。



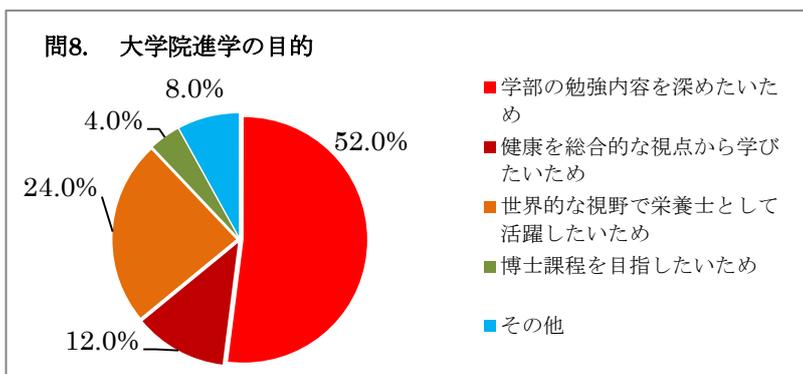
(b) 大学院で学びたい分野について（資料 5 - 問 7）

(a)の大学院進学に興味を示した在学生及び卒業生に、進学した場合の学びたい分野を質問したところ、25名の回答の内、「栄養学」が最も多く11名（44.0%）、次いで「栄養学・運動・社会福祉などの総合的な学び」が9名（36.0%）、「体育学」が4名（16.0%）、「その他」が1名（4%）と続いた。

問 7	在学生		卒業生		合計	
栄養学	6名	37.5%	5名	55.6%	11名	44.0%
体育学	3名	18.8%	1名	11.1%	4名	16.0%
栄養・運動・社会福祉などの総合的な学び	6名	37.5%	3名	33.3%	9名	36.0%
その他	1名	6.3%	0名	0.0%	1名	4.0%
回答数	16名		9名		25名	

(c) 大学院進学目的について（資料 5 - 問 8）

(a)の大学院進学に興味を示した在学生及び卒業生に大学院への進学目的を質問したところ、25名の回答の内、「学部の勉強内容を深めたいため」が最も多く13名（52.0%）、次いで「世界的な視野で栄養士として活躍したいため」が6名（24.0%）となった。



上記のとおり(b)、(c)のアンケート結果から、健康栄養学研究科の研究・教育内容と合致する結果が得られた。

(d) 大学院修了後の進路について（資料 5 - 問 9）

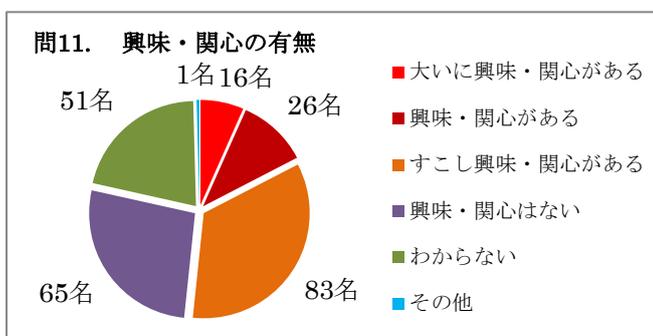
(a)の大学院進学に興味を示した在学生及び卒業生に大学院修了後の進路を尋ねたところ、高いものから「専門知識を活かし企業への就職」が13名（50.0%）、「栄養士、管理栄養士の資格を活かして就職」が12名（46.2%）、「研究者」が6名（23.1%）、「地域の健康に寄与するインストラクター希望」が4名（15.4%）、「その他」が2名（7.7%）となった。

問 9	在学生		卒業生		合計	
研究者を目指す(教員や研究機関)	5名	29.4%	1名	11.1%	6名	23.1%
専門知識を活かして企業などに就職する	9名	52.9%	4名	44.4%	13名	50.0%
栄養士や管理栄養士の資格を活かして就職する	6名	35.3%	6名	66.7%	12名	46.2%
地域の健康に寄与できるインストラクターとして就職する	2名	11.8%	2名	22.2%	4名	15.4%
その他	1名	5.9%	1名	11.1%	2名	7.7%
回答数	23名		14名		37名	

※ 複数回答可の設問であるため、占有率については「問 6」にて大学院進学希望を回答した在学生 17名、卒業生 9名、合計 26名でそれぞれ除した。

(e) 神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻への興味・関心について（資料 5 - 問 11、12）

在学生及び卒業生の回答者 242 名のうち、本研究科について「大いに興味・関心がある」と回答したのは 16 名（6.6%）である。「興味・関心がある」は 26 名（10.7%）、「すこし興味・関心がある」は 83 名（34.3%）の回答となり、興味・関心の程度によらなければ合計 125 名（51.6%）と、回答者の約半数が本研究科に興味・関心を示している。（問 11）また、本研究科へ興味・関心を示したその 125 名に、複数回答を可としてその理由を尋ねたところ、「自分が興味を持っている分野だから」が 83 名（66.4%）「既存学部との連携した学びを期待できるから」46 名（36.8%）、「神戸女子大学の大学院だから」31 名（24.8%）と、分野への興味や、本学での大学生活の経験から興味を示したものが多く見られ、本学の大学院という意味でも進学の意向が伺えた。（問 12）



問 12	在学生		卒業生		合計	
新しくできる研究科だから	32名	36.0%	15名	41.7%	47名	37.6%
自分が興味を持っている分野だから	56名	62.9%	27名	75.0%	83名	66.4%
教育内容に関心があるから	23名	25.8%	7名	19.4%	30名	24.0%
丁寧な指導が期待できるから	14名	15.7%	5名	13.9%	19名	15.2%
就職する際に有利だから	18名	20.2%	3名	8.3%	21名	16.8%
神戸女子大学の大学院だから	16名	18.0%	15名	41.7%	31名	24.8%
既存の学部と連携した学びを期待できるから	30名	33.7%	16名	44.4%	46名	36.8%
大学の立地(ホートアイト)が便利だから	6名	6.7%	1名	2.8%	7名	5.6%
学費が適正だから	2名	2.2%	0名	0.0%	2名	1.6%
その他	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
回答数	197		89		286	

※ 複数選択可及び回答者が限定された設問であるため、「問 11」にて興味・関心を示した在学生 89 名、卒業生 36 名、合計 125 名でそれぞれ除した。

- (f) 神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻への入学希望について（資料 5 - 問 13、14）

神戸女子大学大学院健康栄養学研究科の受験の意向を確認したところ「受験を希望する」7名（5.6%）、「受験を検討する」22名（17.6%）「希望しない」49名（39.2%）、「わからない」47名（37.6%）となり（問 13）、神戸女子大学大学院健康栄養学研究科を受験し、合格した場合に入学するかどうかに関する調査では、「入学を希望する」が18名（14.5%）、「入学を検討する」が40名（32.3%）、「希望しない」が24名（19.4%）、「わからない」が42名（33.9%）となった。（問 14）

問 13	在學生		卒業生		合計	
受験を希望する	6名	6.7%	1名	2.8%	7名	5.6%
受験を検討する	17名	19.1%	5名	13.9%	22名	17.6%
受験を希望しない	28名	31.5%	21名	58.3%	49名	39.2%
わからない	38名	42.7%	9名	25.0%	47名	37.6%
回答数	89名		36名		125名	

問 14	在學生		卒業生		合計	
入学を希望する	13名	14.6%	5名	14.3%	18名	14.5%
入学を検討する	28名	31.5%	12名	34.3%	40名	32.3%
入学を希望しない	15名	16.9%	9名	25.7%	24名	19.4%
わからない	33名	37.1%	9名	25.7%	42名	33.9%
回答数	89名		35名		124名	

前述の既設研究科への進学状況や、これらのアンケート調査の結果から、直接的に本研究科への進学へ繋がると予想される健康スポーツ栄養学科の在學生及び卒業生の回答者から、大学院への進学希望者が一定数あり、学生の希望する学びの分野と研究科の趣旨における分野に乖離がなく、神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻へ「入学を希望する」、「入学を検討する」と回答した者が直近の受験が見込まれる4回生で15名、卒業生でも17名あることから、入学定員4名に対して4回生だけで4倍程度、卒業生を含めれば8倍の入学の意向があり、設定した入学定員4名は十分に確保できるものと考えられる。

・ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金については近隣大学院の学生納付金や本学の家政学研究科食物栄養学専攻の実績金額を勘案し、入学金 20 万円、授業料年額 50 万円、教育・施設充実費年額 3 万円と設定することとした。(資料 2)

健康及び栄養に関する大学院(国立 1、公立 1、私立 7)について学納金を調査・比較(平成 27 年 1 月現在、資料 2)したところ、本学大学院が一番安価な学生納付金の設定となっていることから、当該金額と設定することで学生確保の面からも有効に機能するものと考えている。さらに本学出身者については神戸女子大学大学院学則により入学金が半額となる規程が設けられているため、本学在学学生、出身者にとっては更に進学しやすい環境となっている。加えて、「神戸女子大学大学院奨学金」「日本学生支援機構奨学金」といった大学院奨学金制度も充実しており、費用の面から学生を支援することが可能となっている。(資料 6)

② 学生確保に向けた具体的な取り組み状況

既設学部学科については定員を充足できており、長期的に安定して学生を確保しているが、既設大学院の定員充足状況については現状で未充足の研究科がある。本研究科の設置を機会に、既設研究科の定員充足に向けた対策として、学内向けには大学院進学説明会の充実、広報媒体利用の強化、学外向けには関連学部学科設置の大学への大学院案内の配布強化を行うこととしたい。(資料 7)

・ 学内学部生への周知

- (a) 学部教員・キャリアサポートセンター等との協力体制を更に強化し、大学院の魅力を紹介するパンフレットを作成し、3 回生・4 回生の学生を対象に年に数回説明会を定期的に行う。
- (b) 大学院進学説明会ポスターを作成し学内掲示を行う。
- (c) 学内 Web システム「k i s s システム」で定期的に研究科の紹介を実施する。

・ 広告媒体の活用

- (a) 本学研究科案内・要項の送付拡大

本学既設の研究科及び食物栄養学関係の学部、学科を有する他の大学への大学院案内を送付し、学生募集につなげる。

(2) 人材需要の動向的社会的要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本研究科では、栄養学を中心に据え、「健康」をキーワードにした横断的な研究を行うことを目指している。つまり、人間栄養学の見地から、健康維持・健康増進・介護予防などのための「食（栄養）」のあり方について研究・教育し、「運動（スポーツ）」、「食生活」、「福祉」的要素も含めた体系とし、主として健康人（小児・成人・妊産婦・高齢者・アスリートなど）を対象とした実践的な能力をもつ人材、あるいは研究のできる人材を輩出する。また、日本国内のみならず、広く国際社会において、「食および食に関わる要素」について、栄養学をベースにした、理論と実践（実験・調査）の両面から人々の健康長寿に貢献できる高度の専門的職業人を養成する。

本学には既に家政学研究科食物栄養学専攻を設置しているが、家政学研究科食物栄養学専攻は、食物の栄養学的研究、即ち食物の栄養機能特性の科学的研究などを通じて得られた成果や学んだ手法から、病院や施設の現場に寄与する人材、及び研究能力を備えた人材を養成することが主たる目的であり、本研究科とは上記のような人材養成に相違がある。

本研究科の直接母体は、健康福祉学部健康スポーツ栄養学科であるが、健康福祉学部内に併設されている社会福祉学科の教員の知識も本研究科に導入することが可能となり、あくまでも栄養を中心とし、運動と福祉を絡めて人々が幸せに生活を送るための横断的研究がより深く専門的に学べるよう設置することとした。また、上記のような現代社会の抱える多様な健康問題を解決し、人々の健康に貢献できる横断的研究を行うためには、食物栄養学専攻のカリキュラム・設備・装置等では対応しきれないため、新しく本研究科を立ち上げることを構想した。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的根拠

栄養を主な原因とする健康問題は国内、国外に関わらず、それぞれの地域や経済状況によってそれぞれ異なる問題を抱えている。我が国や欧米諸国の先進国と称されている国々では肥満・糖尿病・高血圧を始めとする生活習慣病が大きな問題となっているが、その反面、発展途上国の地域では飢えやそれに関連する疾患で6秒に1人が命をおとしている現実がある。また、「栄養の二重苦」と称されるが、途上国の国々においては貧富の格差から生活習慣病問題を貧困の問題と同時に抱える状況も発生している。設置の趣旨に記載したとおり、我が国では「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」（資料8、9）を目指す対策を展開し、健康寿命の延伸が喫緊の課題とされており、同様に国際的にも人々が健康に生活を送るための活動は必要不可欠なものとなっている。上記の現状を踏まえ、人間栄養学の観点で包括的な栄養学に関する知識・技術を備えた健康栄養学研究科修了者は、広く地域に必要とされる人材であることが予想される。

人材需要の動向について客観的データで検証するため書面によるアンケート調査を実施した。その目的、調査の方法、対象施設などは以下のとおりである。

- 調査時期 : 平成 27 年 4 月の約 1 ヶ月間
- 調査対象 : 就職が見込まれる企業・施設
- ・ 本学卒業生の就職先 168 件
 - ・ 本学の研究に関して関係のある栄養・薬学関係の企業・施設 22 件
 - ・ 本学健康福祉学部の実習先である企業・病院等の施設 116 件
- 調査時配付物 : 下記のを配付
- 参考用リーフレット (資料 2)
 - 依頼文 (郵送) (資料 10)
 - アンケート用紙 (資料 11)

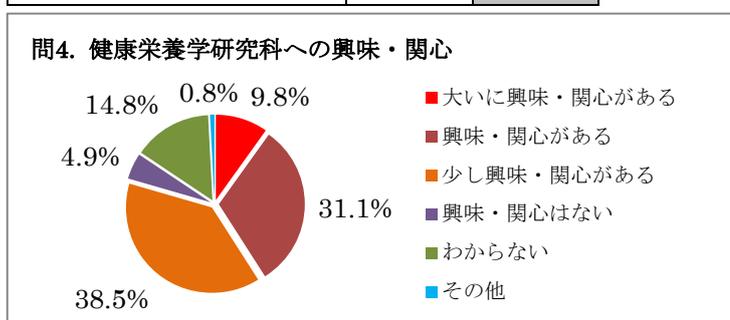
アンケート用紙に無記名で回答する方法で実施した。

その結果、就職先からは 43 件 (回収率 25.6%)、共同研究先等からは 16 件 (回収率 72.7%)、実習先からは 64 件 (回収率 55.2%) 合計 123 件 (回収率 40.2%) の回答を得た。回収したアンケートの調査結果 (資料 12) について分析した結果を以下に記載する。

(a) 神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻への興味・関心について (資料 12- 問 3、4、5)

神戸女子大学のイメージについて複数回答を可として聞いたところ、回答した企業等の 35%以上が「歴史が長い」、「資格取得に強い」、「立地が良い」、「栄養学に特色がある」というイメージを持っており (問 3)、回答のあった 122 件のうち、本研究科に「大いに興味・関心がある」が 12 件 (9.8%)、「興味・関心がある」38 件 (31.1%)、「少し興味・関心がある」47 件 (38.5%) という結果が得られた。程度に関わらず本研究科に興味・関心がある企業、施設などは合計 97 件 (79.4%) と本研究科に対する高い期待が示された。(問 4)

問 3	回答数	内訳
歴史が長い	49	39.8%
資格取得に強い	49	39.8%
教員養成に強い	10	8.1%
栄養学に特色がある	45	36.6%
立地(須磨・ポートアイランド)が良い	49	39.8%
学生の面倒見が良い	36	29.3%
知らない	4	3.3%
その他	6	4.9%
回答数	248	



また、「興味・関心がある」と回答した企業、施設などに興味・関心の理由を聞いたところ、高いものから「興味を持てる分野」46.4%、「新しくできる研究科」38.1%、「採用に必要な人材が育成される」35.1%、「教育内容に関心」32.0%、「神戸女子大学の大学院だから」24.7%、「既存の学部との連携した学びに期待」24.7%、「丁寧な指導が期待できる」20.6%、などの回答が得られ、本学、本研究科に対して企業等からの期待が伺える。(問5)

問 5	回答数	内訳
新しくできる研究科だから	37	38.1%
興味を持てる分野だから	45	46.4%
教育内容に関心があるから	31	32.0%
丁寧な指導が期待できるから	20	20.6%
採用に必要な人材が育成されると期待できるから	34	35.1%
神戸女子大学の大学院だから	24	24.7%
既存の学部と連携した学びを期待できるから	24	24.7%
大学の立地(ポートアイランド)が便利だから	2	2.1%
学費が適正だから	2	2.1%
その他	0	0.0%
回答数	219	

(b) 採用の際に重視する事柄について（資料 12・問 6）

採用の際に重視する事柄について質問したところ、回答のあった 123 件で、「円滑なコミュニケーション能力を備えていること」が 98 件（79.7%）、次いで「礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること」が 94 件（76.4%）、「必要な専門的知識・技術があること」が 75 件（61.0%）の結果であった。

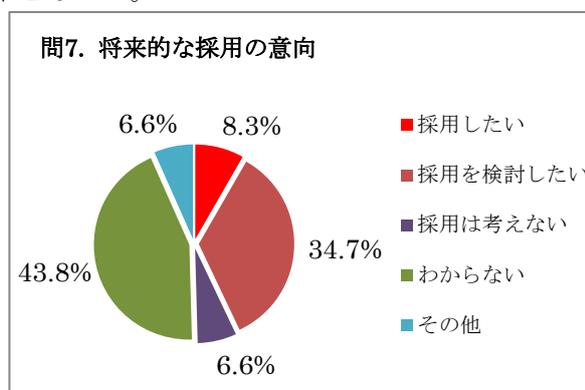
このことは、本学の建学の精神である「自立心・対話力・創造性」の「対話力」に対応する「円滑なコミュニケーション能力を備えていること」や、本研究科の養成する人材像である「専門的職業人の育成」に対応する「必要な専門的知識・技術があること」に多数の回答がみられ、本研究科の教育方針が社会的、地域的な人材需要の動向に即したものであると考えられる。

問 6	回答数	内訳
必要な専門的知識・技術があること	75	61.0%
礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること	94	76.4%
円滑なコミュニケーション能力を備えていること	98	79.7%
世界で活躍できる能力を備えていること	8	6.5%
積極的に自立した専門職であること	48	39.0%
幅広い知識・教養を備えていること	38	30.9%
その他	5	4.1%
回答数	366	

(c) 神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻修了者の採用意向について（資料 12・問 7）

本研究科修了生の採用の意向について質問したところ、回答のあった 121 件のうち、「採用したい」が 10 件（8.3%）、「採用を検討したい」が 42 件（34.7%）であり、合計 52 件で採用の見込みがみられる結果となった。

問 7	回答数	内訳
採用したい	10	8.3%
採用を検討したい	42	34.7%
採用は考えない	8	6.6%
わからない	53	43.8%
その他	8	6.6%
回答数 小計	121	

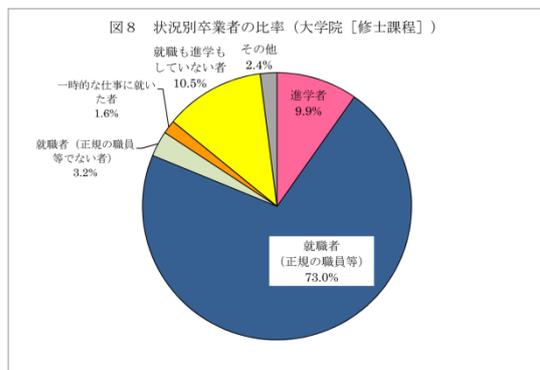


(d) 将来の採用予定人数について（資料 12- 問 8）

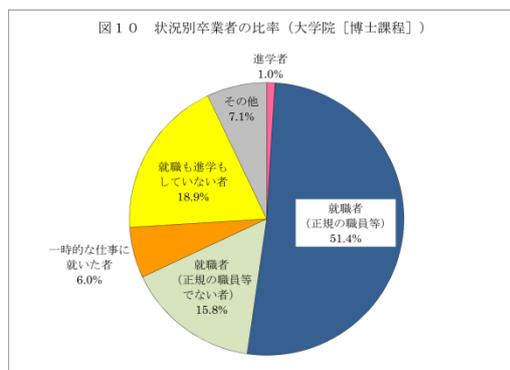
将来、採用する場合の人数について尋ねたところ、回答のあった 121 件のうち、採用人数 1 人が 64 事業所（52.0%）、2 人が 3 事業所（2.4%）、3 人が 2 事業所（1.6%）、4 人以上が 7 事業所（5.7%）となった。将来的な採用人数ではあるが、採用予定人数の合計は 104 名となり、入学定員 4 名、収容定員 8 名での設置予定であることから本研究科の修了生の進路は十分確保できるものと考えられる。

問 8	回答数	内訳
1 人	64	52.0%
2 人	3	2.4%
3 人	2	1.6%
4 人以上	7	5.7%
回答数 小計	76	

健康栄養学研究科健康栄養学専攻は修士課程での設置予定となっているが、平成 27 年度学校基本調査の結果によれば、大学院博士課程の修了者が「就職や進学もしていない」、「進学者」、「その他」を除いた、就職した者は 73.2%であったのに対し、大学院修士課程の修了者は博士課程修了者よりも進学する割合が高いにも関わらず 77.2%と高く、社会的な修士課程修了者の人材需要は高いことが読み取れる。また、博士課程修了者の「正規の職員等での就職者」の割合も博士課程修了者であれば 51.4%であるのに対し、修士課程修了者は 73.0%と上回っている。



(注) 端数を四捨五入しているため、各項目の計が 100 にならない場合がある。また、就職者には、進学しかつ就職した者を含むため、各項目の合計が 100 を超える場合がある。



(注) 端数を四捨五入しているため、各項目の計が 100 にならない場合がある。また、就職者には、進学しかつ就職した者を含むため、各項目の合計が 100 を超える場合がある。

(参照)

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2015/08/18/1360722_03_1.pdf （平成 27 年度学校基本調査 調査結果の概要）

以上の見地から、社会的及び地域的な人材需要において本研究科で養成される人材は、前述のとおり一般的な修士課程修了者としても、関係分野の企業等においても広く地域に必要とされるものであると考えている。

(添付資料)

- 資料1. 兵庫県内の栄養士・管理栄養士養成施設
- 資料2. 神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻（修士課程）（仮称）の概要（リーフレット）
- 資料3. 神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻（修士課程）（仮称）設置に係るアンケート調査（学生・卒業生）
- 資料4. 神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻（修士課程）（仮称）設置に係るアンケート調査の依頼状（卒業生）
- 資料5. 学生と卒業生への大学院設置に関するアンケート調査 単純集計表
- 資料6. 神戸女子大学大学院奨学金規程
- 資料7. 健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の志願者・入学者などの動向
- 資料8. 平均寿命と健康寿命の差
- 資料9. 平均寿命と健康寿命の推移
- 資料10. 神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻（修士課程）（仮称）設置に係るアンケート調査の依頼状（企業・施設）
- 資料11. 神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻（修士課程）（仮称）設置に係るアンケート調査（企業・施設）
- 資料12. 企業・施設への大学院設置に関するアンケート調査 単純集計表

兵庫県内の栄養士・管理栄養士養成施設
(大学・短大)

	大学名	学部名	学科名など	場所	資格
1	兵庫大学	健康科学部	栄養マネジメント学科	加古川市	管理栄養士
2	武庫川女子大学	生活環境学部	食物栄養学科	西宮市	管理栄養士
3	武庫川女子大学短期大学部	食生活学科		西宮市	栄養士
4	園田学園女子大学	人間健康学部	食物栄養学科	尼崎市	管理栄養士
5	甲子園大学	栄養学部	栄養学科	宝塚市	管理栄養士
6	神戸女子大学	家政学部	管理栄養士養成課程	神戸市須磨区	管理栄養士
7	神戸女子大学	健康福祉学部	健康スポーツ栄養学科	神戸市中央区	栄養士
8	神戸女子短期大学	食物栄養学科		神戸市中央区	栄養士
9	神戸松蔭女子学院大学	人間科学部	生活学科食物栄養学専攻	神戸市灘区	管理栄養士
10	神戸学院大学	栄養学部	栄養学科	神戸市西区	管理栄養士
11	兵庫県立大学	環境人間学部	環境人間学科食環境栄養課程	姫路市	管理栄養士

出典＝一般社団法人 全国栄養士養成施設協会HPより本学で作成

神戸女子大学大学院 健康栄養学研究科 健康栄養学専攻（修士課程）（仮称）

平成28年4月開設予定

神戸女子大学大学院健康栄養学研究科 健康栄養学専攻（修士課程）（仮称）の概要

設置時期：平成28年4月（予定）

設置場所：神戸女子大学ポートアイランドキャンパス
〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-7-2

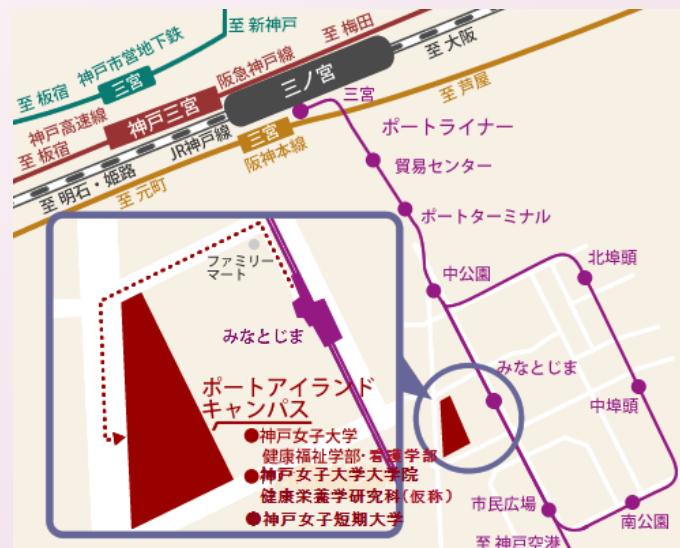
入学定員：4名（収容定員8名）（予定）

修得学位：修士（健康栄養学）（予定）

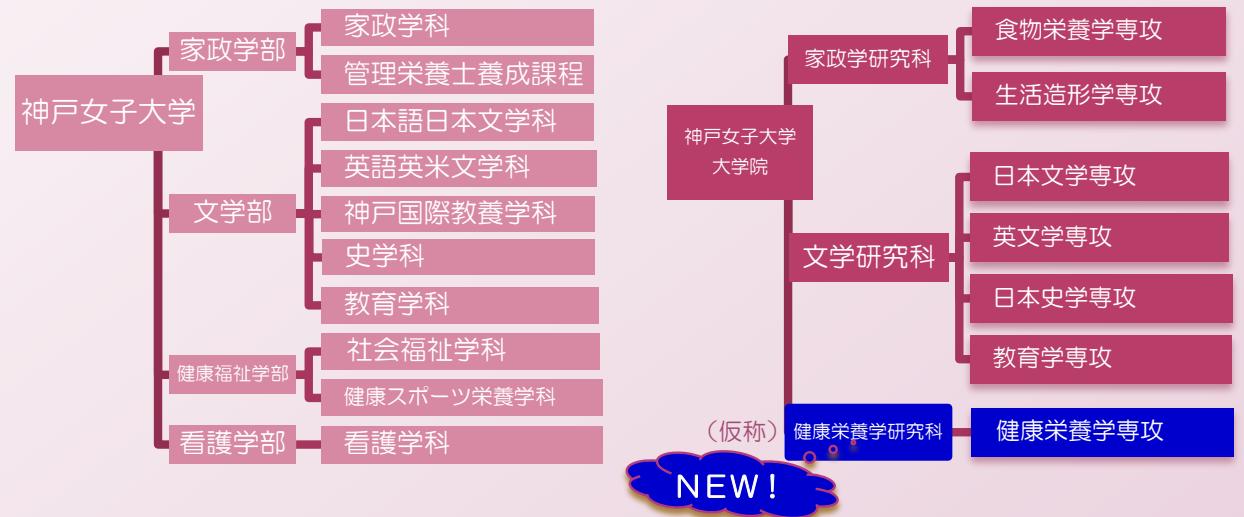


神戸女子大学は
自立心・対話力・創造性
を培う教育を目指しています

神戸女子大学は、建学の精神に基づき、自立心に富み、対話力と創造性にすぐれ、人類社会の発展に貢献する女性を育成します。



【交通アクセス】
三ノ宮駅・三宮駅からポートライナーの「神戸空港行き」「北埠頭行き」に乗り、「みなとじま駅」で下車。（乗車時間約10分）「みなとじま駅」より徒歩5分。



健康栄養学研究科 健康栄養学専攻（修士課程）（仮称）設置の目的・教育理念



栄養学を中心にとらえ、運動と福祉をからめた「健康」をキーワードにして、横断的に研究を行う研究科を目指している。「健康で人間らしい生活をして長生きしたい」という欲求を地域の住民さらには全世界の国民に成就させるためには、研究者の養成はもちろんのこと、臨床現場や国際的な場で活躍できる実務家の養成も必要であり、本研究科では研究者や高度な専門的職業人として、世の中に貢献できる人材を育成することを目標としている。

国民全体の健康寿命を延ばす環境を整えることに貢献することが、本研究科の最大の理念であり、目的である。

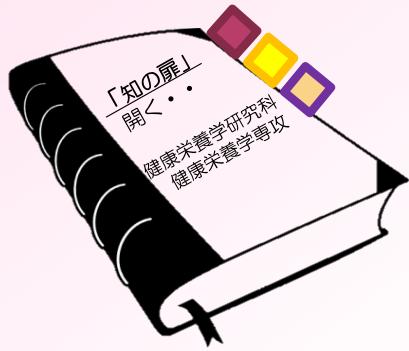
神戸女子大学大学院
KOBÉ WOMEN'S UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

〒650-0046
神戸市中央区港島中町4丁目7-2
TEL：(078) 303-4815
学校法人行吉学園 学園企画部学園企画課

設置構想中のため、掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

設置構想中のため、掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

健康栄養学研究科 健康栄養学専攻（修士課程）（仮称） 養成する人材像

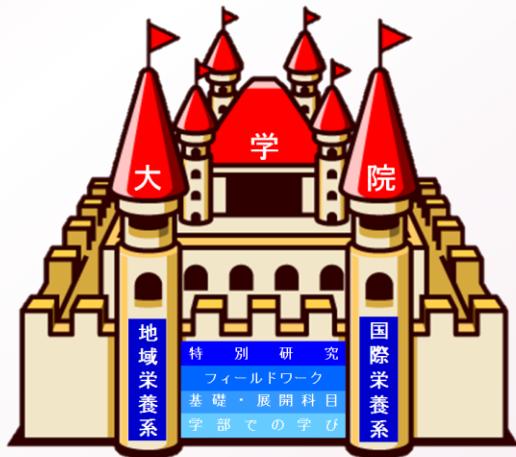


栄養学を中心に、運動・福祉と関連させた「健康」に横断的な思考を持って関与できる研究者

生活に密着した栄養・運動習慣・精神面のサポートを関連して指導できる高度な専門的職業人

発展途上国や先進国における食文化と疾病の研究・調査など、世界を舞台に活躍できる国際的な視野をもつ栄養士

健康栄養学研究科 健康栄養学専攻（修士課程）（仮称） 教育課程



「地域栄養系」と「国際栄養系」の二本を柱とする体系化した教育課程を編成する。

地域栄養系、国際栄養系とも、基礎科目－展開科目－フィールドワーク特別研究の中から、必修科目と、各系オリジナルの科目を選択する。

地域栄養系は、地域における健康づくり分野での栄養管理に貢献できる教育に重点をおいた教育課程編成とし、国際栄養系は、国際的な視野で食文化や各地域における栄養の問題点を理解し解決するための方策を学ぶ教育課程編成とする。

本研究科は、座学のみならず、病院や海外に出向いてのフィールドワーク活動も行いう事ができ、研究者はもちろん、高度な専門的職業人になるための知識や体験が得られる教育課程を提供する。

健康栄養学研究科 健康栄養学専攻（修士課程）（仮称） 予想される進路

大学・企業・研究所における教育・研究者

- 後に続く人材を養成できる教員、研究組織で基礎的な研究ができる研究者

栄養に関わる管理指導や調査等ができる高度な専門的職業人

- 保育所、学校、保健所、薬局、福祉関連施設、病院などにおいて、栄養に関わる調査や管理指導、および食育教育や講演ができる専門的職業人

国際的な視野を持つ栄養士

- 青年海外協力隊などに参画し、発展途上国での栄養指導ができる高度な専門的職業人

健康づくりのアプローチができる専門家

- 健康増進施設、スポーツ関連施設、特別養護老人ホームなどで、健康寿命を延ばすために、食事の大切さと関連させて伝えることができる高度な専門的職業人

神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻（修士課程）（仮称）と類似する大学院一覧

区分	大学名	研究科名	専攻名	修士・博士区分	所在地	入学定員(修士課程)	入学初年度年間学納金等(単位:円)		
							総額	入学金	学納金等
国	奈良女子大学	人間文化	食物栄養学	修士	奈良県奈良市	11名	817,800	282,000	535,800
公	大阪市立大学	生活科学	食・健康科学コース 居住環境学コース 総合福祉科学コース 臨床心理学コース	修士・博士	大阪府大阪市住吉区	48名	757,800 (市民及びその子) 877,800 (それ以外)	222,000 (市民及びその子) 342,000 (それ以外)	535,800
私	人間総合科学大学	人間総合科学	心身健康科学(通信)	修士・博士	埼玉県さいたま市岩槻区	30名	1,080,000	200,000	880,000
			健康栄養科学	修士		5名	1,080,000	200,000	880,000
私	松本大学	健康科学	健康科学	修士	長野県松本市	6名	950,000	200,000	750,000
私	立命館大学	スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	修士・博士	滋賀県草津市	25名	1,318,000	300,000	1,018,000
私	畿央大学	健康科学	健康科学	修士・博士	奈良県北葛城郡	20名	940,000	190,000	750,000
私	関西大学	人間健康	人間健康	修士	大阪府堺市堺区	10名	899,000	130,000	769,000
私	武庫川女子大学	生活環境学	食物栄養学	修士・博士	兵庫県西宮市	12名	1,025,000	280,000	745,000
私	神戸女子大学	家政学	食物栄養学	修士・博士	兵庫県神戸市須磨区	8名	730,000	200,000	530,000
私	神戸女子大学	健康栄養学(予定)	健康栄養学(予定)	修士	兵庫県神戸市中央区	4名(予定)	730,000(予定)	200,000(予定)	530,000(予定)

・国公立大学：ホームページより

・私立大学：日本私立大学団体連合会『学生納付金等調査(平成26年度入学生)』及びホームページより

設置構想中のため、掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

問5 あなたの取得する予定または現在持っている資格を次の中から選んでください。(いくつでも)

- 1 栄養士
- 2 管理栄養士
- 3 薬剤師
- 4 健康運動実践指導者

- 5 フードスペシャリスト
- 6 教員免許(具体的に
- 7 その他

【回答欄】

()

問6 あなたは大学院の進学についてどのように考えていますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 卒業後すぐ進学したい
- 2 卒業後3年未満に進学したい
- 3 卒業後3年以上10年未満に進学したい
- 4 卒業後10年以上後に進学したい
- 5 現在は考えていない

5を選ばれた方は問10へ
お進みください。

問7 大学院に進学した場合、どのような分野を学びたいですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 栄養学
- 2 体育学
- 3 栄養・運動・社会福祉などの総合的な学び
- 4 その他()

問8 大学院の進学の目的についてお尋ねします。次の中から1つ選んでください。

- 1 学部の勉強内容を深めたいため
- 2 健康を総合的な視点から学びたいため
- 3 世界的な視野で栄養士として活躍したいため
- 4 博士課程を目指したいため
- 5 その他()

問9 大学院を修了した後、どのような進路を考えていますか。次の中から選んでください。(いくつでも)

- 1 研究者を目指す(教員や研究機関)
- 2 専門知識を活かして企業などに就職する
- 3 栄養士や管理栄養士の資格を活かして就職する
- 4 地域の健康に寄与できるインストラクターとして就職する
- 5 その他()

ここからは神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻(修士課程)
の概要(リーフレット)をご覧ください、お答えください。

問10 あなたが考える神戸女子大学の特色は何ですか。次の中から選んでください。(いくつでも)

- 1 歴史が長い
- 2 資格取得に強い
- 3 教員養成に強い
- 4 栄養学に特色がある
- 5 教養に特色がある
- 6 学生の面倒見が良い
- 7 分からない
- 8 その他()

神戸女子大学
電話：078-303-4815
FAX：078-303-4857

資料 4

平成 27 年 4 月吉日

神戸女子大学健康福祉学部
健康スポーツ栄養学科卒業生の皆様

神戸女子大学
学長 中島 實

「神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻（修士課程）（仮称） 設置に係るアンケート調査」について（ご依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、神戸女子大学では平成 28 年 4 月に新たに健康栄養学研究科健康栄養学専攻（修士課程）（仮称）の開設を予定し、設置準備を進めております。

新研究科設置にあたり、学生確保の見通し（入学意向等）について客観的根拠となるデータを示すことが必要になっております。そこでこの度、本学の卒業生の皆様を対象に、「神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻（修士課程）（仮称）設置に係るアンケート調査」を以下のとおり実施させていただきたくお願い申し上げます。

たいへんお忙しいところ誠に恐縮でございますが、以上の趣旨をご理解たまわり、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、本アンケートの結果は新研究科の設置の基礎資料とするためのみに用い、目的以外に利用するものではないことをお約束いたします。

末筆ながら皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

記

1. 調査対象：神戸女子大学 健康福祉学部 健康スポーツ栄養学科 卒業生
2. 送付書類：アンケート用紙、新研究科概要（リーフレット）、返信用封筒
3. 調査方法：新研究科概要（リーフレット）をご覧いただき、アンケート用紙にご回答ください。
4. 回答送付：平成 27 年 4 月 17 日（金）までに同封の返信用封筒でアンケート用紙を本学までご返送ください。
5. 問合わせ：学校法人行吉学園 学園企画部（担当：廣畑・三嶋・田中）
〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町 4-7-2
TEL：078-303-4815 FAX：078-303-4857

以上

※ 設置構想中のため、掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

学生と卒業生への大学院設置に関するアンケート調査
単純集計表

資料5

選択肢	選択内容	2回生	3回生	4回生	在学生 合計	OG	総合計	備考	
		在学者数				送付数			
		66名	76名	75名	217名	209通	426通		
		回答者数							
		61名	66名	61名	188名	54名	242名		
		回答率							
		92.4%	86.8%	81.3%	86.6%	25.8%	56.8%		
問1	あなたのお住まい(現住所)についてお尋ねします。 次の中から1つ選んでください。	2回生	3回生	4回生	在学生 合計	OG	総合計	備考	
1	兵庫県神戸市内	25	30	29	84	9	93		
2	兵庫県内(神戸市内を除く)	22	20	17	59	17	76		
3	大阪府	13	13	8	34	10	44		
4	その他	1	3	7	11	18	29		
回答数 小計		61	66	61	188	54	242		
問2	あなたの現在の学年をご記入ください。	2回生	3回生	4回生	在学生 合計	OG	総合計	備考	
2	2回生	61	0	0	61		61		
3	3回生	0	66	0	66		66		
4	4回生	0	0	61	61		61		
回答数 小計		61	66	61	188		188		
問3	あなたの社会人経験年数をお尋ねします。 次の()内に社会人としての経験年数をご記入ください。	2回生	3回生	4回生	在学生 合計	OG	総合計	備考	
社会人経験年数 () 年								「何年目」と「何年経験」か で記載が分かれたため未 集計	
回答数 小計									
問4	現在のお仕事を次の中から選んでください。	2回生	3回生	4回生	在学生 合計	OG	総合計	備考	
1	栄養関係の仕事					23	23		
2	運動などに関係する仕事					3	3		
3	福祉関係の仕事					1	1		
4	その他					27	27		
回答数 小計						54	54	2つ選択した回答が1件	
問4 4.その他	専業主婦					1			
	営業職					1			
	営業事務、営業アシスタント(メーカー)					2			
	医療、医療事務					2			
	食品メーカー、食品会社、メーカー(機内食)、食品製造					6			
	治験施設支援機関					1			
	飲食業					1			
	販売員、販売					2			
	スーパー					1			
	損保会社					1			
	接客業					1			
	金融					1			
	大学院					1			

学生と卒業生への大学院設置に関するアンケート調査
単純集計表

問5	あなたの取得する予定または現在持っている資格を次の中から選んでください。(いくつでも)	2回生	3回生	4回生	在学生合計	OG	総合計	備考
1	栄養士	61	66	61	188	54	242	
2	管理栄養士	30	13	6	49	8	57	
3	薬剤師	0	0	0	0	0	0	
4	健康運動実践指導者	50	39	23	112	14	126	
5	フードスペシャリスト	49	52	41	142	37	179	
6	教員免許(具体的に)	17	13	19	49	11	60	
7	その他	2	2	4	8	11	19	
	回答数 小計	209	185	154	548	135	683	
問5 6.教免	栄養教諭 (計33名 2回生《12名》、3回生《3名》、4回生《12名》、OG《6名》)							複数記入が可能
	栄養教諭二種 (計6名 3回生《1名》、4回生《3名》、OG《2名》)							
	二種 (計1名 3回生)							
	具体的記載なし (計22名 2回生《5名》、3回生《8名》、4回生《4名》、OG《5名》)							
問5 7.その他	食生活アドバイザー 計3名 (2回生《2名》、OG《1名》)							複数記入が可能
	秘書検定2級 計8名 (4回生《3名》、OG《5名》)							
	秘書技能検定2級 計1名 (OG)							
	医療事務 計1名 (4回生)							
	漢字検定準2級 計1名 (4回生)							
	家庭料理技能検定3級 計1名 (4回生)							
	色彩検定2級 計2名 (4回生《1名》、OG《1名》)							
	日本習字高等師範 計1名 (4回生)							
	サービス接客検定2級 計1名 (OG)							
	運転免許 計2名 (OG《2名》)							
	二種運転免許 計1名 (OG)							
	野菜ソムリエ 計1名 (OG)							
	簿記3級 計1名 (OG)							
	調理師 計1名 (OG)							
	JADP認定ベビーマッサージ 計1名 (OG)							
	ベビ योगインストラクター 計1名 (OG)							
	ANCSインストラクター 計1名 (OG)							
具体的記載なし 計1名 (3回生)								
問6	あなたは大学院の進学についてどのように考えていますか。次の中から1つ選んでください。	2回生	3回生	4回生	在学生合計	OG	総合計	備考
1	卒業後すぐ進学したい	4	2	7	13	2	15	
2	卒業後3年未満に進学したい	1	0	1	2	1	3	
3	卒業後3年以上10年未満に進学したい	0	0	1	1	6	7	
4	卒業後10年以上後に進学したい	0	0	1	1	0	1	
5	現在は考えていない	56	64	50	170	44	214	
	回答数 小計	61	66	60	187	53	240	
問7	大学院に進学した場合、どのような分野を学びたいですか。次の中から1つ選んでください。	2回生	3回生	4回生	在学生合計	OG	総合計	備考
1	栄養学	1	0	5	6	5	11	
2	体育学	0	2	1	3	1	4	
3	栄養・運動・社会福祉などの総合的な学び	3	0	3	6	3	9	
4	その他	1	0	0	1	0	1	
	回答数 小計	5	2	9	16	9	25	
問7 4.その他	食品学 (計1名 2回生)							
問8	大学院の進学の目的についてお尋ねします。次の中から1つ選んでください。	2回生	3回生	4回生	在学生合計	OG	総合計	備考
1	学部の勉強内容を深めたいため	2	1	7	10	3	13	
2	健康を総合的な視点から学びたいため	0	1	1	2	1	3	
3	世界的な視野で栄養士として活躍したいため	1	0	1	2	4	6	
4	博士課程を目指したいため	0	0	0	0	1	1	
5	その他	2	0	0	2	0	2	
	回答数 小計	5	2	9	16	9	25	
問8 5.その他	管理栄養士の受験資格を得るため (計1名 2回生)							
	管理栄養士免許をとりたいため (計1名 2回生)							

学生と卒業生への大学院設置に関するアンケート調査
単純集計表

問9	大学院を修了した後、どのような進路を考えていますか。 次の中から選んでください。(いくつでも)	2回生	3回生	4回生	在学生 合計	OG	総合計	備考
1	研究者を目指す(教員や研究機関)	1	1	3	5	1	6	
2	専門知識を活かして企業などに就職する	3	2	4	9	4	13	
3	栄養士や管理栄養士の資格を活かして就職する	2	0	4	6	6	12	
4	地域の健康に寄与できるインストラクターとして就職する	1	0	1	2	2	4	
5	その他	0	0	1	1	1	2	
	回答数 小計	7	3	13	23	14	37	
問10	あなたが考える神戸女子大学の特色は何ですか。 次の中から選んでください。(いくつでも)	2回生	3回生	4回生	在学生 合計	OG	総合計	備考
1	歴史が長い	1	1	6	8	8	16	
2	資格取得に強い	26	15	14	55	20	75	
3	教員養成に強い	0	2	0	2	3	5	
4	栄養学に特色がある	39	27	30	96	35	131	
5	教養に特色がある	4	0	1	5	5	10	
6	学生の面倒見が良い	22	23	16	61	25	86	
7	分からない	8	17	14	39	6	45	
8	その他	1	2	0	3	2	5	
	回答数 小計	101	87	81	269	104	373	
問10 8.その他	勉強しやすい 計1名(2回生)							
	CMが有名 計1名(3回生)							
	アットホーム 計1名(3回生)							
	先生と学生との距離 計1名(OG)							
	まじめな生徒が多い 計1名(OG)							
問11	あなたは本学設置予定の神戸女子大学大学院 健康栄養学研究科健康栄養学専攻(修士課程)(仮称)について、 どのように考えますか。次の中から1つ選んでください。	2回生	3回生	4回生	在学生 合計	OG	総合計	備考
1	大いに興味・関心がある	2	3	6	11	5	16	
2	興味・関心がある	9	2	6	17	9	26	
3	すこし興味・関心がある	24	18	19	61	22	83	
4	興味・関心はない	9	25	21	55	10	65	
5	わからない	17	18	9	44	7	51	
6	その他	0	0	0	0	1	1	
	回答数 小計	61	66	61	188	54	242	
問11 6.その他	必要ないと思う 計1名(OG)							
問12	問11で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」 「すこし興味・関心がある」と回答された方にお尋ねします。 それは、どのような理由からですか。次の中から3つまで選んでください。	2回生	3回生	4回生	在学生 合計	OG	総合計	備考
1	新しくできる研究科だから	9	10	13	32	15	47	
2	自分が興味を持っている分野だから	24	12	20	56	27	83	
3	教育内容に関心があるから	8	11	4	23	7	30	
4	丁寧な指導が期待できるから	6	4	4	14	5	19	
5	就職する際に有利だから	7	7	4	18	3	21	
6	神戸女子大学の大学院だから	4	3	9	16	15	31	
7	既存の学部と連携した学びを期待できるから	14	4	12	30	16	46	
8	大学の立地(ポートアイランド)が便利だから	4	0	2	6	1	7	
9	学費が適正だから	0	1	1	2	0	2	
10	その他	0	0	0	0	0	0	
	回答数 小計	76	52	69	197	89	286	
問13	本学設置予定の神戸女子大学大学院 健康栄養学研究科健康栄養学専攻(修士課程)(仮称)の 受験の意向について、次の中から1つ選んでください。	2回生	3回生	4回生	在学生 合計	OG	総合計	備考
1	受験を希望する	1	1	4	6	1	7	
2	受験を検討する	7	4	6	17	5	22	
3	受験を希望しない	9	6	13	28	21	49	
4	わからない	18	12	8	38	9	47	
	回答数 小計	35	23	31	89	36	125	
問14	本学設置予定の神戸女子大学大学院 健康栄養学研究科健康栄養学専攻(修士課程)(仮称)を受験し、 合格された場合の入学意向について次の中から1つ選んでください。	2回生	3回生	4回生	在学生 合計	OG	総合計	備考
1	入学を希望する	7	3	3	13	5	18	
2	入学を検討する	10	6	12	28	12	40	
3	入学を希望しない	5	4	6	15	9	24	
4	わからない	13	10	10	33	9	42	
	回答数 小計	35	23	31	89	35	124	

学生と卒業生への大学院設置に関するアンケート調査
単純集計表

問15	本学設置予定の神戸女子大学大学院 健康栄養学研究科健康栄養学専攻(修士課程)(仮称)の設置計画について、 ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。	2回生	3回生	4回生	在学生 合計	OG	総合計	備考
2回生	今は今後どうするかわからないけど、選択の道が増えたのは嬉しい。	1			1		1	
	良いと思います。	1			1		1	
	もし行ったとして管理栄養士がとれるか	1			1		1	
	健康スポーツ栄養学科があるのだから、 その分野を深く学べる専攻ができるのは、良いと思う。	1			1		1	
	大学院に行くつもりはないけど、大学院の設置いいと思います。	1			1		1	
3回生	研究したい人がいるなら設置したほうがいいと思う。		1		1		1	
4回生	もっと早くに大学院ができていて、 先輩の話(経験談)が聞けるならば検討したかもしれないが、少し遅かった。			1	1		1	
OG	卒業生で現在栄養関係の職に就いていなくても入学・受験には影響はないのでしょうか。 詳しい情報がわかればまた教えていただきたいです。					1	1	
	必要性があると思っていました。 ただし、明確な計画性と充実した研究を行える環境が、必要だと思います。 初めはさぐりさぐりなのはわかるのですが、初年度から深く研究できるよう教員の方や、 事務の方のバックアップが重要だと思います。 学ばれる方が、学びたい事をやり遂げて、社会で活躍されることを願っています。					1	1	
	より深く学びたい人にとっては、いい場だと思う。					1	1	
	学内の設備が小さいので、他大学とも積極的に連携すると学べる幅が広がると思う。					1	1	
	大学の知名度が低いので、修士課程を出たとしても、 他の有名大学の人に劣るので就職するのは厳しいと思う。 また、現場(栄養士)の給料は安く、 高い学費を払ってまで大学院に進む必要はないと個人的に思う。					1	1	
	管理栄養学部(大学)だけが多い大学の中で、 スポーツ栄養学部があるということで魅力があり、 受験生は神女を選ぶ人が多いと思います。 ですので、大学院でもその分野も含む専攻があれば更に魅力があり、 受験生も増加(希望)すると思います。					1	1	
	リーフレットの教育課程の説明に “高度な専門的職業人になるための知識や 体験が得られる教育課程を提供する”とあります。 具体的に、現実的にどんなことが体験でき、得られるのかが知れたら嬉しいです。					1	1	
	神女の特徴である、スポーツ栄養学をもっと多くの人にすすめていきたい。 また、今後更なる健康志向の注目により、 さまざまな活躍の場を広げていけると思うので期待しています。					1	1	
	大学の4年間で習ったことプラスさらに深く知識を深めていくことは自分の人生を深め、 社会に貢献度が大きいと考えます。 プラスアルファの2年間とか4年間は本人を成長させるし、 日本国内では、特色のある大学で生きのびていけると思います。 これから少子化がすすむ上で、 特色のある大学、資格がある人物が企業に残れると感じます。 それと物を仕入れ販売する仕事は必ず吸収合併します。 知識はその人についていきますので、役立つとつくづく感じます。					1	1	
	栄養、運動に興味のある人にとってうれしいと思う。					1	1	
現在、在学している方や、これから入学される方たちにとっては 道が広がると思うので、ぜひ設置してほしいと思います。					1	1		
卒業生のフォロー。通信教育⇒資格取得。					1	1		
	回答数 小計	5	1	1	7	12	19	

神戸女子大学大学院奨学金規程（案）

第 1 条 この規程は、神戸女子大学大学院の学生に適用する。

2 この規程の適用を受けた者は、学校法人吉学園奨学事業に係る授業料免除・奨励金授与規程の適用を受けることができない。

第 2 条 神戸女子大学大学院において高度な能力を養い、優れた人材を育成するために、次の各号に該当する者に対し、毎年審査の上奨学金を支給する。

- (1) 人物並びに学業成績が優秀で勉学意欲のある者
- (2) 経済的に困窮している者で経済的支援により、能力がより発揮されると期待できる者
- (3) 博士後期課程大学院生においては博士学位の取得が期待される者

2 奨学生の選考に関する事項は、学長が所管する。

3 学長は、選考した奨学生について、理事長に推薦するものとする。

第 3 条 奨学金の支給を受けようとする者は、奨学金交付願書を毎年指定された日までに提出しなければならない。

第 4 条 奨学金 A は、修士課程及び博士前期課程大学院生を対象とし、授業料年額の 2 分の 1 を支給する。

2 奨学金 B は、博士後期課程大学院生を対象とし、授業料年額と同額を支給する。

3 奨学金 B の受給者が博士後期課程の修業年限経過後 5 年以内に博士学位を取得しなかった場合は、支給した奨学金の 2 分の 1 相当額を本学に返還するよう求めることができる。

4 この規程に定める奨学金は、本学園以外から支給される奨学金との重複を妨げない。

第 5 条 奨学金の支給は、前期及び後期の 2 回とし、当該期の授業料が納付済みであることを確認の上、各々年間支給額の 2 分の 1 を支給する。

第 6 条 奨学金の支給期間は、修士課程及び博士前期課程大学院生は 2 年、博士後期課程大学院生は 3 年を限度とする。

但し、神戸女子大学大学院長期履修学生に関する取り扱い規程の適用者については、長期履修を認められた期間を限度とする。

第 7 条 奨学生が休学又は長期にわたって欠席したときは、奨学金の支給を休止する。

第 8 条 在学中奨学生として不相当と認めるときは、学長は部局長会の意見を聴き、奨学生としての資格を取り消すことができる。ただし、学長は、取り消しに当たり研究科委員会の意見を聴くことができる。

第 9 条 この規程に定めのない事項は、部局長会の意見を聴き学長が決定する。ただし、学長は、決定に当たり研究科委員会の意見を聴くことができる。

第 10 条 この規程の改廃は、部局長会の意見を聴き理事長が行う。ただし、理事長は、改廃に当たり研究科委員会の意見を聴くことができる。

附 則

この規程は、昭和 61 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この規程は、平成元年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この規程は、平成 14 年 4 月 1 日より施行する。

第 3 編（神戸女子大学大学院奨学金規程）

附 則

この規程は、平成 20 年 3 月 24 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

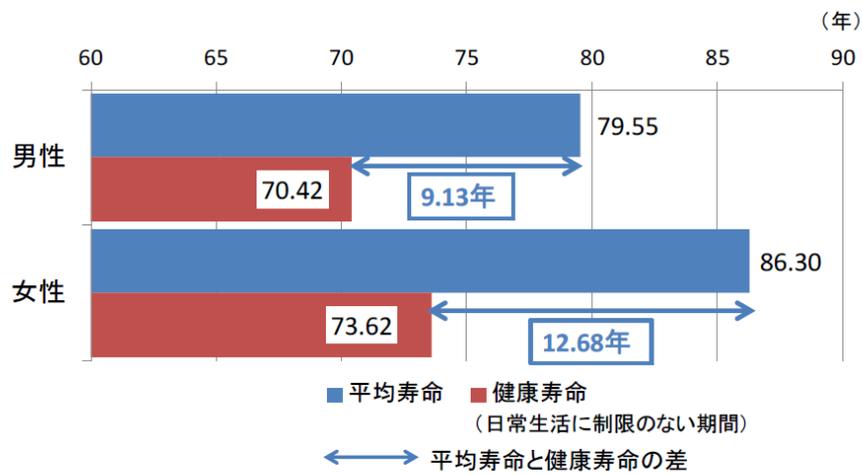
附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

健康福祉学部健康スポーツ栄養学科
の志願者・入学者などの動向

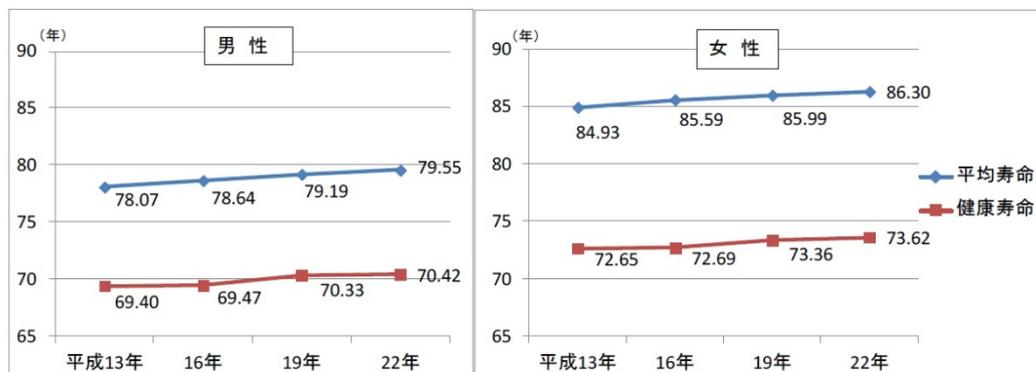
学部学科		2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	平均値
健康福祉学部健康 スポーツ栄養学科	志願者 (C)	1,056	949	998	965	929	740	940
	受験者	1,050	947	994	962	925	735	936
	合格者 (D)	109	114	116	111	110	107	111
	入学者 (A)	72	70	75	76	67	64	71
	入学定員 (B)	60	60	60	60	60	60	60
	A/B*100	120.0	116.7	125.0	126.7	111.7	106.7	117.8
	志願者倍率C/D	9.69	8.32	8.60	8.69	8.45	6.92	8.45
	志願者定員倍率C/B	17.60	15.82	16.63	16.08	15.48	12.33	15.66

平均寿命と健康寿命の差



(資料：平均寿命(平成22年)は、厚生労働省「平成22年完全生命表」
健康寿命(平成22年)は、厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における
将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」)

平均寿命と健康寿命の推移



(資料：平均寿命は、平成13、16、19年は、厚生労働省「簡易生命表」、平成22年は「完全生命表」
健康寿命は、厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」)

平成 27 年 4 月吉日

各 位

神戸女子大学
学長 中島 實

「神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻（修士課程）（仮称） 設置に係るアンケート調査」について（ご依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、神戸女子大学では平成 28 年 4 月に新たに健康栄養学研究科健康栄養学専攻（修士課程）（仮称）の開設を予定し、設置準備を進めております。

新研究科設置にあたり、社会的な人材需要（卒業生の採用意向等）について客観的根拠となるデータを示すことが必要になっております。

つきましては、本学が設置を検討しております健康栄養学研究科健康栄養学専攻（修士課程）（仮称）の卒業生に対する貴社・貴施設の採用意向等につきまして、採用ご担当者の方のご意見をお聞かせいただきたくお願い申し上げます。

たいへんお忙しいところ誠に恐縮でございますが、以上の趣旨をご理解たまわり、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、本アンケートの結果は新研究科の設置の基礎資料とするためのみに用い、目的以外に利用するものではないことをお約束いたします。

末筆ながら貴社・貴施設の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

記

1. 調査対象：貴社・貴施設 採用ご担当者様
2. 送付書類：アンケート用紙、新研究科概要（リーフレット）、返信用封筒
3. 調査方法：新研究科概要（リーフレット）をご覧いただき、アンケート用紙にご回答ください。
4. 回答送付：平成 27 年 4 月 17 日（金）までに同封の返信用封筒でアンケート用紙を本学までご返送ください。
5. 問合わせ：学校法人行吉学園 学園企画部（担当：廣畑・三嶋・田中）
〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町 4-7-2
TEL：078-303-4815 FAX：078-303-4857

以上

※ 設置構想中のため、掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

Q5. 「Q4」で「1」・「2」・「3」を選ばれた方にお尋ねします。「興味・関心がある」理由を次の中から3つまでお選びください。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 新しくできる研究科だから | 6. 神戸女子大学の大学院だから |
| 2. 興味が持てる分野だから | 7. 既存の学部と連携した学びを期待できるから |
| 3. 教育内容に関心があるから | 8. 大学の立地（ポ-トアイランド）が便利だから |
| 4. 丁寧な指導が期待できるから | 9. 学費が適正だから |
| 5. 採用に必要な人材が育成されると期待できるから | 10. その他（ |

）【回答欄】

--	--	--

Q6. 貴社・貴施設では採用の際に、どのようなことを重視していますか。次の中からお選びください（いくつでも可）。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 必要な専門的知識・技術があること | 5. 積極的で自立した専門職であること |
| 2. 礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること | 6. 幅広い知識・教養を備えていること |
| 3. 円滑なコミュニケーション能力を備えていること | 7. その他（ |
| 4. 世界で活躍できる能力を備えていること | |

--

Q7. 本学が精想中の大学院健康栄養学研究科の修了生の将来的な採用の意向についてお尋ねします。次の中から1つお選びください。

1. 採用したい
2. 採用を検討したい
3. 採用は考えない
4. わからない
5. その他（

--

Q8. 本学が精想中の大学院健康栄養学研究科の修了生の将来的な採用人数についてお尋ねします。次の中から1つお選びください。

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人以上

--

Q9. 本学が精想中の神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻（修士課程）（仮称）の設置計画について、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。その他、大学の教育内容・活動等についてご希望があれば、あわせてご記入ください。

--

◆◆ 最後までご協力いただき、ありがとうございました ◆◆

選択肢	選択内容	(A)就職先	(B)大学関係 企業	(C)実習先	外部機関 合計	備考
		送付数				
		168通	22通	116通	306通	
		回答機関数				
		43通	16通	64通	123通	
回答率						
25.6%	72.7%	55.2%	40.2%			
問1	貴社・貴施設の種類についてお聞きします。 次の中から該当する番号を1つお選びください。	(A)就職先	(B)大学関係 企業	(C)実習先	外部機関 合計	
1	企業	31	15	2	48	
2	教育・研究機関	2	0	1	3	
3	施設(医療福祉関係)	6	1	52	59	
4	その他	4	0	9	13	
	回答数 小計	43	16	64	123	
問1 4.その他	食品等の試験検査機関、サービス業、公官庁、保育園、 病院、公益財団法人、精神科クリニック、社会福祉法人(就労系)、 児童養護施設、児童相談所、医療機関 (各1通)					
問2	貴社・貴施設の業務内容をお尋ねします。 次の中から該当する番号及び記号を1つずつお選びください。	(A)就職先	(B)大学関係 企業	(C)実習先	外部機関 合計	
1	栄養関係	23	10	5	38	
ア	給食関係	15	1	5	21	
イ	医療・製薬関係	0	2	0	2	
ウ	食品製造・卸関係	8	5	0	13	
エ	サプリメントなどの製造・卸関係	0	2	0	2	
オ	その他	0	0	0	0	
問2 1-オ. その他	食品添加物製造 (1通)					記号欄未記入で 具体例有りの場合、 またはその逆の場合も有り
2	運動関係	2	0	0	2	
ア	運動器具・ウェアなどの製造・卸関係	0	0	0	0	
イ	ジムなどの運動施設関係	1	0	0	1	
ウ	その他	1	0	0	1	
問2 2-ウ. その他						記号欄未記入で 具体例有りの場合、 またはその逆の場合も有り
3	医療福祉関係	8	1	51	60	
ア	病院関係	4	1	11	16	
イ	福祉施設関係	2	0	38	40	
ウ	薬局	0	0	0	0	
エ	その他	2	0	1	3	
問2 3-エ. その他	院外調理センター、複合(医療福祉)、相談機関 (各1通)					記号欄未記入で 具体例有りの場合、 またはその逆の場合も有り
4	その他	9	3	2	14	
問2 4.その他	児童養護、訪問介護・居宅介護、 医薬部外品・化粧品・一部健康食品の製造販売、 学校法人、エステティック、食品等の試験検査 (各1通)					記号欄未記入で 具体例有りの場合、 またはその逆の場合も有り
	回答数 小計	42	14	58	114	
問3	神戸女子大学についてのイメージを次の中からお選びください。(いくつでも)	(A)就職先	(B)大学関係 企業	(C)実習先	外部機関 合計	
1	歴史が長い	21	5	23	49	
2	資格取得に強い	15	4	30	49	
3	教員養成に強い	5	2	3	10	
4	栄養学に特色がある	16	12	17	45	
5	立地(須磨・ポートアイランド)が良い	11	9	29	49	
6	学生の面倒見が良い	10	7	19	36	
7	知らない	1	0	3	4	
8	その他	1	0	5	6	
	回答数 小計	80	39	129	248	
問3 8.その他	教員が熱心、くわしく知らない 栄養士の採用は神戸女子大からが多い 学生の質が良い 育成がしっかりしている (各1通)					

企業・施設への大学院設置に関するアンケート調査
単純集計表

問4	貴社・貴施設において、本学設置予定の神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻(修士課程)(仮称)について、どのように考えられますか。次の中から1つお選びください。	(A)就職先	(B)大学関係 企業	(C)実習先	外部機関 合計
1	大いに興味・関心がある	4	4	4	12
2	興味・関心がある	17	7	14	38
3	少し興味・関心がある	13	3	31	47
4	興味・関心はない	2	0	4	6
5	わからない	6	2	10	18
6	その他	0	0	1	1
回答数 小計		42	16	64	122
問4 6.その他	当科との関連少ない(1通)				
問5	「Q4」で「1」・「2」・「3」を選ばれた方にお尋ねします。「興味・関心がある」理由を次の中から3つまでお選びください。	(A)就職先	(B)大学関係 企業	(C)実習先	外部機関 合計
1	新しくできる研究科だから	9	6	22	37
2	興味が持てる分野だから	13	13	19	45
3	教育内容に関心があるから	9	4	18	31
4	丁寧な指導が期待できるから	9	2	9	20
5	採用に必要な人材が育成されると期待できるから	19	3	12	34
6	神戸女子大学の大学院だから	10	4	10	24
7	既存の学部と連携した学びを期待できるから	9	5	10	24
8	大学の立地(ポートアイランド)が便利だから	0	0	2	2
9	学費が適正だから	0	1	1	2
10	その他	0	0	0	0
回答数 小計		0	0	0	219
問5 10.その他					
問6	貴社・貴施設では採用の際に、どのようなことを重視していますか。次の中からお選びください(いくつでも可)。	(A)就職先	(B)大学関係 企業	(C)実習先	外部機関 合計
1	必要な専門的知識・技術があること	18	11	46	75
2	礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること	34	11	49	94
3	円滑なコミュニケーション能力を備えていること	34	14	50	98
4	世界で活躍できる能力を備えていること	3	4	1	8
5	積極的で自立した専門職であること	11	6	31	48
6	幅広い知識・教養を備えていること	11	8	19	38
7	その他	2	2	1	5
回答数 小計		0	0	0	366
問6 7.その他	明るさ・素直 (1通)				
問7	本学が構想中の大学院健康栄養学研究科の修了生の将来的な採用の意向についてお尋ねします。次の中から1つお選びください。	(A)就職先	(B)大学関係 企業	(C)実習先	外部機関 合計
1	採用したい	9	0	1	10
2	採用を検討したい	15	10	17	42
3	採用は考えない	4	1	3	8
4	わからない	13	5	35	53
5	その他	1	0	7	8
回答数 小計		42	16	63	121
問7 5.その他	当社をお選び頂けるなら幸いです。 修了者が管理栄養士の資格を持ち、福祉の現場で働く事を望まれ、高齢者のためになると施設が判断し、希望者と施設の意向がマッチングすれば採用となりえると考えます。 施設がこの様な人材が必要でない規模なため。 採用については事務局が決めるので回答できません。 管理栄養士の有資格者としての採用は有ります。 給与面で院卒の方に見合った待遇ができるかどうか難しい。 栄養士以外で生活支援員の採用もあり。				
問8	本学が構想中の大学院健康栄養学研究科の修了生の将来的な採用人数についてお尋ねします。次の中から1つお選びください。	(A)就職先	(B)大学関係 企業	(C)実習先	外部機関 合計
1	1人	22	12	30	64
2	2人	2	1	0	3
3	3人	1	0	1	2
4	4人以上	5	1	1	7
回答数 小計		30	14	32	76
問8 欄外記入	特になし、わかりません、多分採用はしない、未定、未定、?、回答なし(斜線)、わからない、選考による採用のため回答できません、予定はありません、管理栄養士の有資格者としてなら、今のところ人数についてまではわかりません、不明、Q7の回答参照、わからない(各1通)				

企業・施設への大学院設置に関するアンケート調査
単純集計表

問9	本学が構想中の神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻(修士課程)(仮称)の設置計画について、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。その他、大学の教育内容・活動等についてご希望があれば、あわせてご記入ください。
就職先	相当な専門性や学力、研究開発力がなく2年大卒よりも年齢が上で、給料が上の、院卒のプライドのみもちあわせた人材なのであれば企業としては採用がむずかしい。もともと栄養士としてのプライドが高い上なのでなおさらそう感じます。
就職先	貴学健康スポーツ栄養学科の学生様は、素直で優秀な方が多く、この度の修士課程設置計画には大変期待を寄せております。今後も採用活動等でお世話になることも多いかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。
就職先	知識ばかり勉強しても、実務が出来ない生徒が多いと思います。とりえず挨拶から・・・同僚に気配りから～と思います。
就職先	当方において、大学院卒レベルの専門知識を活かせる部署がございませんので、参考にはならないかと思われます。
就職先	神戸女子大学様の長い歴史に裏打ちされた「自立心・対話力・創造性」を持った修了生を輩出していただきたいと思います。
就職先	弊社では、栄養士力の向上を目指しています。将来、有能な管理栄養士もしくは、それ以上の存在となり得る人材を求めています。是非とも、指導的役割を担う人材を育成して頂きたいと思います。
就職先	Q8ですが、その時の採用計画により人数が読めない所があります。卒業生2名が在籍していました実績がございますので大変興味はございます。(Q8は空欄)
就職先	特にございません。
就職先	入社してすぐに、そのレベルまでの知識は必要とはしませんが、後々指導する側(一般管理)になる際に役立つと思いました。
就職先	特にありません。
就職先	大学での教育ではないのですが、言葉使いや一般常識に欠けている生徒が御校だけではなく、多く感じます。専門知識に加え、人としての部分も教育していただければと思います。
就職先	研究色が強調されておりますので、給食事業を展開する弊社としては、敬遠されてしまう(相手にされない)傾向にないかが不安あります。
就職先	・本専攻の目的・教育理念の中に「運動と福祉をからめた「健康」をキーワードにして・・・」とありますが、既存の食物栄養学専攻においても「特に健康の観点から捕らえていく場」とあります。この2専攻において、講義内容に重複がでてくると予想されますが、その点はいかがでしょうか。 ・修士号をもった管理栄養士がはたして即戦力になるでしょうか。
大学関係企業	木を見る専門化が進んでも森を見ることを忘れず、健康栄養学が何かをいつも考え、相手がヒトであることを意識した人材育成を期待します。
大学関係企業	企業と一緒に共同研究ができればよいのでは？
大学関係企業	食物栄養学との大きな違いは何でしょうか？
大学関係企業	貴校の益々のご発展をお祈り致します。
大学関係企業	健康産業分野は、今年4月に施行された機能性表示食品制度により大きく飛躍することが予想され、第一線で活躍する人材が求められます。大学院の設置により、多くの企業と連携し活躍されることを期待します。
大学関係企業	いつもご指導賜り御礼申し上げます。回答遅くなり申し訳ありません。
大学関係企業	企業との連携、学校、福祉、病院、スポーツの各施設の実際の利用者からの生の声を最重視した活動と研究ができる現在進行形の社会貢献の場としていただけたらと考えます。
大学関係企業	専門的知識・技術がある人材を採用できれば新商品開発や海外への事業拡大等につながると思うので、大いに期待しております。
大学関係企業	食のスペシャリストとして活躍できる場が増えることで栄養士の地位向上を期待します。
実習先	自立した強い“個”の育成に期待します。
実習先	文面で見るとかぎりでは、特色がわかりにくいと考えます。食物栄養学と何が違うのかなど、もうすこし具体的な説明がほしいです。
実習先	実習生でお世話になっています。恩師にいつも感謝でいっぱいです。
実習先	現在、いずれの職種においても大学院卒の職員はいない状況です。学歴云々よりは、介護の現場に必要な資格を持ち、高齢者のために熱意を持ってチームの一員として働く者が、求められているように感じます。
実習先	健康スポーツ栄養学科の修士なので、就職に向けて、より専門性の高い研究で、学生さんが社会で活躍できることを願っています。
実習先	幅広い知識を身に付けた管理栄養士養成に期待します。専門知識のみならず人としての育成にも期待します。
実習先	特にありません
実習先	福祉事業所なので、特に、医療栄養に係わる所の所がわからなく、お役に立てずすいません。
実習先	学校での教育と実習は専門職養成には欠かせないと思っています。今後もより一層の連携を意識した交流の場を希望します。
実習先	特にありません